

## 北海道大学大学院理学研究科·理学部

# 広

# 報

第34号 2006年(平成18年)1月

目	次
理学部創立75周年記念式典・祝賀会を開催 1	外国の研究機関との共同研究11
第3回大学院理学研究科諮問委員会を開催 4	海外からの来訪者12
第104回国立大学法人10大学理学部長会議及び	学位授与·····14
第23回国立大学法人理学部長会議開催される5	新任教員紹介14
名寄市と宇宙観測・研究で相互協力協定を締結・・・6	各種委員会委員 · · · · · · 16
北大-大垣東高校間	平成17年度科学研究費補助金の申請件数
双方向遠隔授業プロジェクト 7	(大学院理学研究科) · · · · · · · · 17
学会賞等の受賞	行事予定
理学研究科・理学部防火訓練を実施10	

## 理学部創立75周年記念式典・祝賀会を開催

去る11月11日(金)14時から、理学研究科・理学部5号館大講義室において、約200名の参加者を集めて北海道大学理学部創立75周年記念式典が開催されました。

式典は理学研究科長の挨拶に始まり、引き続き総 長、毛利衛日本科学未来館館長及び鈴木章名誉教授 から挨拶があり、その後気象研究所主任研究官の 忠 鉢 繁 氏より、「南極オゾンホールの発見とその後」 と題して南極オゾンホールを世界で最初に発見した ときの状況等について、京都大学大学院理学研究科教授の齋藤軍治氏より、「有機導電体(半導体、金属、超伝導体)の化学の現状と展望」と題して1950年代に日本人が創製した導電性有機材料の歴史と展開について、ハワイ大学生物発生研究所長の柳町隆造氏より、「私の歩んだ道と夢」と題して大学生時代に同氏を魅了した生殖細胞に関する概念についてそれぞれ講演が行われました。



岡田理学研究科長挨拶



中村総長による祝辞



日本科学未来館館長毛利 衛氏 (昭和45年化学科卒業)による祝辞



名誉教授鈴木 章氏 (昭和29年化学科卒業)による祝辞



気象研究所主任研究官忠鉢 繁氏 (昭和46年物理学科卒業)による講演



京都大学大学院理学研究科教授齋藤軍治氏 (昭和42年化学第2学科卒業)による講演



ハワイ大学医学部教授柳町隆造氏 (昭和27年生物学科動物学専攻卒業)による講演



記念式典に出席の理学部OB

式典終了後の同日夜には札幌アスペンホテルにおいて、本研究科職員及び理学部同窓生等約150名が集い、祝賀会が盛大に催されました。会は研究科長の挨拶に始まり、理学部の歴史が紐解かれたスライド

ショーが映し出される中、同窓生の方々のテーブルスピーチも交え、和やかな歓談のひとときとなりました。



テーブルスピーチを聞く祝賀会参加者



堀 浩名誉教授(昭和28年生物学科動物学専攻卒業) によるテーブルスピーチ



佐藤真理子氏(昭和46年数学科卒業) によるテーブルスピーチ



北海道大学理学部 創立75周年記念祝賀会

徳永正晴名誉教授によるテーブルスピーチ



樋口敬二氏(昭和27年物理学科卒業) によるテーブルスピーチ



松本恒一氏(昭和23年化学科卒業) によるテーブルスピーチ

祝賀会場で参加者と歓談する総長

## 第3回大学院理学研究科諮問委員会を開催

去る11月11日(金)午前10時から、理学研究科・理学部大会議室において第3回大学院理学研究科諮問委員会が開催されました。当日は諮問委員である塩谷喜雄氏(日本経済新聞社論説委員)、鈴木武氏(味の素株式会社技術特別顧問)、吉留康夫氏(株式会社エフエムノースウェーブ代表取締役社長)、毛利衛氏(日本科学未来館館長)、若松澄夫氏(独立行政法人スポーツ振興センター理事)の5名、理学研究科からは、岡田理学研究科長をはじめ、副研究科長、各専攻長、将来計画委員会委員及びこの会議の実行ワーキンググループメンバー等が参集しました。

会議は理学研究科長の挨拶に始まり、引き続き各 専攻から、明年4月に理学研究院・理学院への移行 等に伴い再編されることとなる各専攻組織の概要に ついて説明があり、それを受けて各諮問委員より積 極的に質疑がなされ、また多くの示唆に富む意見が 提示されたことにより、参加者の間で活発な意見交 換が引き出されることとなりました。

この度の諮問委員会の場でなされた議論が、次年 度の組織改編に大いに生かされていくことが期待さ れます。

#### 〇理学研究科諮問委員会委員名簿

吉留康夫 ㈱エフエム・ノースウェーブ

代表取締役社長

鈴木 武 味の素技術特別顧問

丸山瑛一 理化学研究所知的財産戦略センター長

塩谷喜雄 日本経済新聞社科学技術部門論説委員

毛利 衛 日本科学未来館館長

若松澄夫 独立行政法人日本スポーツ振興

センター理事



挨拶する岡田研究科長



意見を述べる毛利衛諮問委員

# 第104回国立大学法人10大学理学部長会議及び第23回国立大学法人理学部長会議開催される

第104回国立大学法人10大学理学部長会議が平成 17年10月13日に東京大学の当番によりKKRホテル 東京で開催されました。

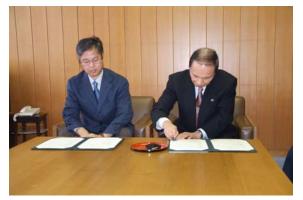
会議では、「環境調和型排気設備の更なる整備について」、「第3期科学技術基本計画と10大学理学部のアクションプラン」について、各大学の現状を踏まえながら、問題点や今後の取り組み方について協議しました。また、「新時代の大学院教育-国際的に魅力のある大学院教育の構築に向けてー」、「平成18年度からの新カリキュラム(学部教育)及び大学院教育の整合性の検討状況」、「学生支援体制(特にアカハラ、セクハラ、留学生)の状況」、「教員のための教育指導法」、「教育・研究成果のデータベース化と情報公開の実情」について、各大学から現状及び取り組状況について紹介がありました。

第23回国立大学法人理学部長会議が翌14日に茨城 大学、東京大学の当番によりKKRホテル東京で開 催されました。

会議には、文部科学省高等教育局国立大学法人支援課を始め全国32大学の理学部長が出席し、文部科学省から「第3期科学技術基本計画について」、「概算要求の現況について」説明があり、引き続き「今後の科学技術振興政策に対する理学部の提言について」及び10大学理学部長会議から提案された「環境調和型廃棄設備の更なる整備ついて」について協議が行われました。

## 名寄市と宇宙観測・研究で相互協力協定を締結

去る12月9日、理学研究科は、大学と地域間の交流促進及び施設・機器等の相互利用等を図るため、 当研究科の渡部重十教授、藤本正行教授らが名寄市 役所を訪れ、島多慶志名寄市長、藤原忠教育長らが 列席のもと、名寄市との間で相互協力協定を締結し ました。



島名寄市長と渡部教授による調印式の様子



調印式当日 — 粉雪舞う木原天文台

名寄市は、天文台としては日本最北に位置する木原天文台を有し、その気象条件の良さから、星を観測するには絶好の場所です。また、同天文台には優秀な技術者が在籍し、これまでにも超新星の発見等数々の実績があります。今夏には、同天文台の佐野康男主査と本研究科大学院生との共同観測により、トランジット法を用いた太陽系外惑星の測光に成功しました。まだ新しい惑星の発見には至っていませんが、これまでに発見された惑星の追観測では、共同観測の観測精度は十分に高いことが示されています。国内初となる新たな系外惑星発見を是非とも期待したいと思います。

また、渡部重十教授の研究グループで開発を進めている金星探査機搭載用大気撮像カメラの性能試験

の実施、天文台と大学とを高速ネットワーク回線で 結び、本研究科内のパソコン端末より同天文台望遠 鏡を遠隔操作できる、いわゆる「インターネット天 文台」の構築も、大学と公共天文台間においては新 しい取り組みと言えましょう。

今後は、太陽系外惑星の発見への取り組み等、研究・観測面のみならず、これまでも行ってきた天体 現象のライブ中継など、地域交流の輪をさらに広げ、 小・中・高校生の皆さんとも天文を通じ、積極的に 体験を共有して行きたいと考えます。

理学研究科は、来年4月から理学研究院(研究組織)と理学院(教育組織)に再編されますが、それに伴い新たに宇宙を研究対象とする「宇宙理学専攻」が設置されます。

本協定は、この新専攻における教育・研究両面ともに重要な意味を持つものと期待されます。



この望遠鏡から夢が広がる



名寄木原天文台から観測された白鳥座の天の川

## 北大一大垣東高校間双方向遠隔授業プロジェクト

去る11月28日、岐阜県立大垣東高等学校と理学研究科地球惑星科学専攻の研究室をネットワークで結んだ遠隔授業を実施しました。2002年に行われた岡山県立鴨方高等学校との遠隔授業、2004年に行われた大垣東高等学校との遠隔授業に引き続き3度目の試みです。



倉本圭助教授(地球惑星科学専攻)と遠隔授業に参加した院生・ 学生の皆さん。授業用スタジオの設定、通信環境の構築, カメラ での撮影と大活躍でした。



北大側のスクリーンに高校生の姿が

今回の授業のテーマには昨夏にテンペル第一彗星へ人工的に物体を衝突させる探査を行ったディープインパクトを取り上げ、太陽系の構造、彗星とはどのような天体なのか、この探査の目的と成果、「はやぶさ」など日本での小天体探査技術などについて、大垣東高校理数科1年生40名と父兄・見学者を対象に90分間にわたる授業を行いました。授業スタジオと通信環境の構築・当日のカメラワークなど、学生に主体的に担当してもらいました。

双方向授業のメリットは、生徒との質疑応答ができることはもちろんですが、大学の現場の様子を生

き生きと伝えることができることも挙げられます。 授業アンケートには、大学生の姿に接することができ、大学の雰囲気を感じることができて刺激になったという感想も目立ちました。この授業については過去の事例も含めて下記のホームページに記録が掲載されています。

理学研究科からは、「動画音声配信技術を応用した研究公開システムの開発」に対して、2003年度の未来潮流グラントを交付いただき、今回の遠隔授業にもこの開発研究で培われたノウハウが生かされました。

今回のネットワーク接続に際しては、岐阜大学総合情報メディアセンター加藤直樹氏・岐阜県教育委員会の下平義広氏にご協力いただき感謝申し上げます。

http://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~mosir/work/2005/ohgaki/



岐阜県立大垣東高等学校の皆さんと ネットワークを介した「集合写真」



倉本圭助教授による遠隔授業の風景

## ◆学会賞等の受賞

## 〇理学研究科物理学専攻 小池和幸教授が「山崎貞 一賞」を受賞

このたび、同氏に財団法人材料科学技術振興財団より、「山崎貞一賞」が授与されました。

この賞は、論文の発表、特許の取得、方法・技術の開発等を通じて、実用的効果につながる優れた創造的業績をあげた、もしくは今後そのような業績をあげる可能性が高い将来性のある研究者に授与されるものであり、受賞者は白川英樹筑波大学名誉教授(2000年度ノーベル化学賞受賞)を委員長とした選考委員会の厳正なる審査結果をもと

に決定されました。このたびの受賞対象となった 同氏の業績は「スピン偏極走査電子顕微鏡の開発 と応用」に関するものでした。

贈呈式は、11月18日(金)午後2時から東京永田 町マツヤサロンロイヤルルームにおいて、選考委 員長である白川名誉教授をはじめ、結城章夫文部 科学省事務次官等各界の著名人が100名以上集ま る中、盛大に執り行われました。

今後も同氏においては、物理学の発展に資する べく益々ご活躍されることが期待されます。



表彰状を贈呈される小池教授



贈呈式での記念撮影(左より増島財団理事長、小池教授、白川筑波大学名誉教授

## 〇理学研究科数学専攻 小野 薫教授が「2005年度 日本数学会秋季賞」を受賞

同賞は毎年秋に、顕著な業績を上げた日本人の 数学研究者1名に与えられる者で、日本の数学界 における最高の賞の一つです(もう一つは日本数 学会春季賞)。

小野氏の業績には、「アーノルド予想」の解決、 「ラグランジュ部分多様体のフレアーホモロジー 理論」の建設、「複素孤立特異点のリンクのシンプ レクティック・フィリング | などがあり、これら シンプレクティック幾何学の中心的テーマに関わ る仕事を深谷氏(京大理)、太田氏(名大理)らと 共に精力的に進めて来られました。そしてこれら は力学系や数理物理におけるミラー対称性等への 応用、および低次元トポロジーや複素特異点理論 に対する新しいアプローチを提供するものです。 特に最近、小野氏はこの20年来の懸案の未解決問 題であった「フラックス予想」を肯定的に解決し ました。この予想はシンプレクティック幾何学に おける基本的問題であって、「シンプレクティック 多様体上においてハミルトン力学系から定まる微 分同相(時刻1写像)全体のなす群がシンプレク ティック微分同相群の中でC<sup>1</sup>級の閉部分群とな る」というもので、小野氏自身が発展させてきた フレアーホモロジーとノビコフホモロジーの研究 を駆使して解決に至ったとのことです。

これらの業績によって数学の発展に貢献し、今 後も数学全般にわたって指導的な役割を担ってい ただけることを期待したいと思います。

#### 〇理学研究科生物科学専攻(生物学)鈴木範男教授

は、「Characterization of two types of cytochrome P450 aromatase in the serial-sex changing gobiid fish、Trimma okinawae」により、平成17年10月7日、日本動物学会から、Zoological Science Award (Zoological Science 論文賞)を受賞されました。

○理学研究科生物科学専攻(高分子機能学)川端和 重教授、同専攻 芳賀 永助教授、物理学専攻 根 本幸児助教授の3氏は、論文「Static Friction of Agar Gels: Formation of Contact Junctions at Frictional Interface」により、平成17年11月、社団 法人日本物理学会から、JPSJ注目論文賞を受賞さ れました。

#### 〇理学研究科生物科学専攻(高分子機能学)西村紳

一郎教授は、「複合糖質糖鎖精製キット S-Bio®R Blot Glyc™o」により、平成17年9月28日、UBSアワード評価委員会(主催:科学技術振興機構(JS T)、NEDO技術開発機構(新エネルギー産業技術総合開発機構)共催:文部科学省、経済産業省、日経BP社)から、イノベーションジャパン2005スペシャル・アワード 優秀賞を受賞されました。

### 〇理学研究科地球惑星科学専攻 学術研究員 伊藤

正一氏は、「2次イオン質量分析法を独自に発展させることにより、固体微少領域における同位体分析法を確立した。その分析法を隕石研究に適用し、1969年後半から信じられていた学説を覆す複合物質を隕石中から見いだした。この研究成果は研究者にインパクトを与え、その後の隕石研究の新しい方向性を導いた。」として、平成17年12月3日、地球化学研究協会から、地球化学研究協会学術賞「奨励賞」を受賞されました。

#### 〇理学研究科地球惑星科学専攻 倉本 圭助教授

は、「地球及び惑星における主要親気性元素の挙動 に関する理論的研究」により、平成17年11月21日、 日本気象学会から、日本気象学会堀内賞を受賞さ れました。

# 理学研究科・理学部防火訓練を実施

さる10月19日(水)午前11時より、理学部2号館6 階実験室から出火したとの想定で、多数の教職員、 学生が参加して、消防訓練を実施しました。

今回の訓練は、札幌市北消防署の立会いのもと、 自衛消防隊を編成し、通報、連絡、初期消火、避難 誘導等の総合訓練を本番さながらに行いました。

訓練修了後、札幌市北消防署担当官から概ね良好であった旨の講評のほか、消火作業や避難にあたっ

て注意事項など今後につながる貴重な意見もいただきました。

引き続き、自衛消防隊長の岡田研究科長より、札幌北消防署へのお礼と教職員、学生に対し防火に対する注意喚起を促す挨拶がありました。その後8号館東側駐車場において、防災設備業者の指導のもと、消化器を使っての消火訓練も行われました。



北消防署からの講評



消火器を使っての消火訓練を行う学生

### ◆外国の研究機関との共同研究

## 理学研究科生物科学専攻(高分子機能学)教授 西 村 紳一郎

#### (1) 共同研究名

Persubstitued Syclodxtrin-based glyco clusters as inhibitors of protein- Carbohydrate recognition using purified plant and mammalian Lectins and wild-type and Lectin-gene-transfected tumor cells as targets

共同研究を行った研究機関・研究者職・氏名 Prof. Hans-Joachim Gabius Chair of Biochemistry Institute of Physiological Chemistry Ludwig-Miximilians-University Munich

## 理学研究科生物科学専攻(高分子機能学)助教授 門 出 健 次

#### (1) 共同研究名

Synthesis, structure, and biological activity of indole phytoalexins and their analogies.

(インドール系ファイトアレキシン及び誘導体の合成・構造・生理活性)

共同研究を行った研究機関・研究者職・氏名 Accoc. Prof. Dr. Peter Kutshy, Department of Organic Chemistry Faculty of Natural Sciences P.J.Safarik University, Slovak Republic

### (2) 共同研究名

Structure-Based Approach for Discovery of Small Molecule Bcl-2 Inhibitors.

(構造情報に基づいた抗腫瘍性 Bc1-2阻害低分子の開発)

共同研究を行った研究機関・研究者職・氏名 Assistant Prof. York Tomita Georgetown University Medical Center, Washington DC, USA

# ◆海外からの来訪者

年 月 日 (期 間)	来 訪 者 (国名・所属・職名・氏名)	目的
(受入れ専攻名:数	<b>数学専攻</b> )	
H17. 10. 5-10. 14	オーストラリア:University of Sydney 講師 Laurentiu Paunescu	特別講演(兼 COE プログラム Special Months 特異点関連分野)での講演「Newton polygons and tree models」
H17. 10. 7-10. 19	イスラエル:Technion-Israel Institute of Technology 助教授 Michail Zhitomirskii	「外微分式系への応用特異点論」に関する研究 打合せと特別講演(兼 COE プログラム Special Months 特異点論と関連分野) での講演「THE HOMOTOPY METHOD」
H17. 10. 10-10. 12	アメリカ: University of California at Berkeley 教授 Walter Jackson Freeman III	学術講演会での講演「Recent advances in the dynamics of EEG」
H17. 10. 10-12. 9	ロシア: Moscow Center for Continuous Mathematics Education 研究員 Yuri Chekanov	「特異領域変形、係数退化を伴う楕円型作用素のスペクトル漸近解析と応用」「Floer ホモロジー、特異点と変形理論」に関する研究打合せ
H17. 10. 27-11. 2	オーストラリア:Queensland University of Technology 教授 Vo Van Ahn	「予測理論的新手法およびタウバー型定理の 展開と記憶を持つ確率過程の応用」に関する 研究打合せ
Н17. 11. 2-11. 7	イギリス : Physics Department, Lancaster University 研究員 塩貝 有里	研究集会「Complex Dynamics of Networks of Oscillators」への出席
H17. 11. 3-11. 10	ドイツ: Dept. Physical Chemistry, Fritz Haber Institute of Max Planck Society 研究員 郡 宏	Complex Dynamics of Networks of Oscillators: From Basic Research to Novel Therapy 研究集会での講演「Entrainment of complex oscillator networks and design of biological clocks」
H17. 11. 11-11. 24	中国:浙江大学 教授 Jian Zhai	「波動場の幾何と解析」に関する研究打合せと Nonlinear Wave Equations 研究集会での講演」
H17. 11. 13-11. 21	フランス : Department d'Informatique Université de Cergy-Pontoise 教授 Yannick Kergosien	研究集会「Mathematical Aspects of Image Processing and Computer Vision 2005」参加と 特異点論からみた様々な幾何学の研究打合せ
H17. 11. 13-11. 26	イギリス:University of Durhum 講師 Farid Tari	「特異点論からみた様々な幾何学の研究」に関する研究打合せと Special Months 特異点論と関連分野 生成的微分幾何学一特異点と微分幾何一研究集会での講演」
H17. 11. 13- H18. 5. 12	中国:長沙科学技術大学 教授 李 兵	COE プログラム Special Months「特異点論と 関連分野 生成的微分幾何学ー特異点と微分 幾何学ー」シンポジウムへの出席と特異点論 からみた様々な幾何学の研究に関する打合せ

H17. 11. 16-11. 20	アメリカ:University of California, Los Angeles 講師 Tony Chan	Mthematical Aspects of Image Processing and Computer Vision 2005 での講演
H17. 11. 16-12. 4	中国:東北師範大学数学与統計学院 教授 裴 東河	COE プログラム Special Months「特異点論と 関連分野 生成的微分幾何学ー特異点と微分 幾何学ー」シンポジウムへの出席と特異点論 からみた様々な幾何学の研究に関する打合せ
H17. 11. 20–11. 24	フランス:Université de Paris Sud 11 教授 Jean-Claude Saut	Nonlinear Wave Equations 研究集会での講演
H17. 11. 20–11. 26	ロシア:ITEP(Institute of Theoretical and Experimental Physics 助教授 Mikhail Verbitskiy	Symplectic varieties and related topics 研究集会での講演
H17. 11. 20–11. 26	ロシア:Uninersity of Moscow 助教授 Dmitry kaledin	Symplectic varieties and related topics 研究集会での講演
H17. 11. 21-12. 9	スペイン: Universidad Polité-cnica de Valencia 助教授 Esther Sanabria Codesal	COE プログラム Special Months「特異点論と 関連分野 生成的微分幾何学ー特異点と微分 幾何学ー」シンポジウムへの出席と特異点論 からみた様々な幾何学の研究に関する打合せ
Н17. 11. 21-12. 9	スペイン: Departament de Geometria I Topologia Universidad de Valencia 教授 Maria del Carmen Romero Fuster	COE プログラム Special Months「特異点論と 関連分野 生成的微分幾何学ー特異点と微分 幾何学ー」シンポジウムへの出席と特異点論 からみた様々な幾何学の研究に関する打合せ
H17. 12. 26- H18. 1. 12	フランス:Université de Paris Sud 名誉教授 Luc Illusie	「モジュライ空間の大域的幾何学」 に関する研究打合せ
(受入れ専攻名: イ	上学専攻)	
H17. 10. 7~10. 8	ドイツ:キール大学 教授 Olaf Magnussen	表敬訪問、研究交流
(受入れ専攻名: 5	生物科学専攻)	
H17. 10. 20	フランス : Station Biologique de Roscoff 研究員 Dr. j. Mark Cock	研究打合せ
H17. 10. 27~10. 29	韓国:麗水大学 教授 Yang Ho Yoon 講師 Ho Young Soh	研究打合せ
H17. 11. 2	フランス:ピエール・マリーキュリー 大学 主任研究員 Brigette Ciapa	表敬訪問、研究交流
H17. 12. 5∼12. 6	アメリカ:ミシガン大学 教授 Dan.W.Urry	研究室にてセミナーを開催し, 専門的知識を 供与いただく
H17. 12. 13	ドイツ:Institute of Macromolecular Chemistry and Textile Chemistry Hans-Juergen P.Adler	研究室にてセミナーを開催し, 専門的知識を 供与いただく

#### 平成17年12月26日学位授与者(2名)

#### (課程博士)

#### 黒 川 孝 幸 (生物科学専攻)

Effect of Polymer Dynamics on Friction of Gels (ゲルの表面摩擦に及ぼす高分子ダイナミクスの 効果)

(主査:龔 剣萍教授)

#### (論文博士)

#### 麓 昌 高(生物科学専攻)

Chemoenzymatic Synthesis of Glycopeptides Using "Polymer Blotting" Strategy

("Polymer Blotting"法を利用した化学酵素的手法による糖ペプチド合成)

(主查:西村紳一郎教授)

## ◆新任教員紹介

#### なか やま あきら 中 山 哲

(化学専攻分子構造化学講座助手)



(平成17年10月20日採用)

最終学歴: 平成13年3月東京 大学大学院工学系研究科化 学システム工学専攻博士後 期課程修了、学位: 博士(工 学)

略歴: 平成13年4月東京大学

インテリジェント・モデリング・ラボラトリ 中核 的研究機関研究員、平成13年10月イリノイ大学ア バーナ・シャンペーン校博士研究員

専門分野:理論化学

# \* tis あつし **木 村** 敦

(生物科学専攻生体情報分子学講座助教授)



(平成17年11月1日採用) 最終学歴:平成13年3月北海

道大学大学院理学研究科生 物科学専攻博士後期課程修 了、学位:博士(理学)

略歴: 平成13年4月ペンシル バニア大学博士研究員

専門分野:分子生物学、生殖生物学

# が 原 克 益

(生物科学専攻生体情報分子学講座助手)



(平成17年11月1日採用)

最終学歷:平成17年3月北海 道大学大学院理学研究科生 物科学専攻博士後期課程修 了、学位:博士(理学)

略歴:平成17年4月日本学術

振興会特別研究員

専門分野:生殖生物学

## 

(数学専攻空間構造学講座助教授)

(平成17年12月1日採用)



最終学歷:平成8年7月九州 大学大学院数理学研究科数 理学専攻博士後期課程修了、 学位:博士(数理学)

略歷:平成8年9月 Dept. Math. Univ. Wisconsin-Madison Honorary Fellow(平成9年9

月まで)、平成10年4月九州大学大学院数理学研究 科研究生(平成12年1月まで)、平成12年1月 Pohang 工科大学研究員(平成13年2月まで)、平 成13年2月筑波大学数学系助手、平成16年4月筑 波大学大学院数理物質科学研究科助手

專門分野:代数(頂点作用素代数、代数的組合せ論)

## ◆各種委員会委員

### 〈全学関係〉

創成科学共同研究機構研究支援部実験施設共同利 用委員会

「生物実験施設共同利用委員会」

 $(17.10.1\sim19.3.31)$ 

 生物科学専攻
 教授
 片倉 晴 雄

 生物科学専攻
 教授
 山口淳二

創成科学共同研究機構研究支援部実験施設共同利 用委員会

「遺伝子実験施設共同利用委員会」

 $(17.10.1 \sim 19.3.31)$ 

生物科学専攻 教授 加藤敦之

創成科学共同研究機構次世代ポストゲノム研究棟 「動物実験施設運営委員会」

 $(17.10.5 \sim 18.3.31)$ 

 生物科学専攻
 教 授 幸 田 敏 明

 寄附講座
 特任助教授 中 川 裕 章

埋蔵文化財運営委員会

 $(17.10.20 \sim 19.3.31)$ 

地球惑星科学専攻 教 授 中 川 光 弘

図書館委員会学術成果発信小委員会

 $(17.11.24 \sim 19.11.23)$ 

 数学専攻
 教授
 新井朝雄

 生物科学専攻
 助教授
 栃内
 新数学専攻

 助手
 行木孝夫

放射性同位元素管理専門委員会

 生物科学専攻
 教 授
 幸 田 敏 明

 化学専攻
 助教授
 今 川 敏 明

放射性同位元素等管理委員会

「国際規制物資管理専門委員会」

物理学専攻 教授 熊谷健一

放射性同位元素等管理委員会

「X線管理専門委員会」

 化学専攻
 教 授
 稲 辺
 保

 地球惑星科学専攻
 講 師 三 浦 裕 行

遺伝子組換え実験等安全主任者

 $(17.11.28 \sim 19.11.27)$ 

生物科学専攻 助教授 池 田 亮

アイソトープ総合センター利用者協議会

 $(17.12.1 \sim 19.11.30)$ 

生物科学専攻 教授 山下正兼

# 平成17年度科学研究費補助金の申請件数(大学院理学研究科)

種目名		平成18年度	平成17年度	前年比増減
学術創成研究		0	0	0
特別推進研究	4	3	1	
特 定 領 域 研 究 (新規の研究領域	₹)	0	2	-2
特 定 領 域 研 究 (計画研究〔継続	<b>ā</b> ])	3	7	-4
特 定 領 域 研 究 (公募研究)		44	61	-17
基盤研究(S)		6	4	2
	一般	19	23	-4
基盤研究(A)	海外	1	2	-1
	計	20	25	-5
	一般	32	35	-3
基盤研究(B)	海外	5	2	3
	計	37	37	0
	一般	39	33	6
基盤研究(C)	企 画	6	5	1
	計	45	38	7
萌芽研究		49	52	-3
若 手 研 究(A)		8	6	2
若 手 研 究(B)		46	55	-9
合 計		262	290	-28

# ◆行事予定

月	日	曜	事項
	5	木	専攻長・学科長会議
	6	金	全学教育科目,大学院・学部専門科目授業再開
	11	水	大学入試センター試験監督員説明会 9:15~
	12	木	入学試験委員会, 研究科教授会
	12	木	大学院理学院入試出願資格予備審査結果通知
1	12	木	平成18年度第1学期授業時間割(案)原稿提出締切
	12	木	平成18年度大学院授業科目シラバス原稿提出締切
	13	金	大学院理学院修士(博士前期)課程及び博士後期課程入学願書受付(~19日)
	21	土	大学入試センター試験 (雪害等による再試験は1月28~29日)(~22日)【20日(金)休講】
	24	火	全学教育科目補講期間(30日~2月1日)
	27	金	博士学位申請締切(2月付託)
	1	水	全学教育科目第2学期授業終了
	1	水	転学・転部・転科・再入学等の申し出締切
	2	木	専攻長・学科長会議
	2	木	全学教育科目定期試験開始(~14日) [追試験: 2月16(水)~18日(金)]【6日(月)午後一部休講】
	7	火	大学院理学院修士(博士前期)課程及び博士後期課程入学試験(~8日)
	9	木	研究科教授会
	10	金	3月博士学位授与予定者の審査報告関係書類提出締切
	10	金	修士論文題目提出締切(3月修了予定者)
2	中旬	可頃	2年次進級予定者ガイダンス(学科紹介等)
	13	月	正午 3月卒業・修了予定者の成績入力・提出締切
	13	月	大学院・学部専門科目補講・集中講義期間 (~23日)
	15	水	全学教育科目追試験(~17日)
	17	金	正午 全学教育科目・学部専門科目(1年次学生)成績入力締切
	17	金	博士学位申請締切(3月付託)
	20	月	正午 全学教育科目追試験成績入力締切
	21	火	北大第二次入学試験(前期日程)監督員説明会 9:30~
	23	木	専攻長・学科長会議

月	日	曜	事項		
	24	金	春季休業(~4月3日)		
2	25	土	北大第二次入学試験(前期日程)【24日(金)試験場設営】		
	27	月	学修簿・学科分属希望調査票配付		
	1	水	研究生・聴講生・科目等履修生入学願書受付開始 (~3月7日)		
	2	木	入学試験委員会 [修士(博士前期)課程・博士後期課程第二次入学試験合格者の選考]		
	2	木	研究科教授会 [3月修了者の決定,大学院第二次入学試験合格者の決定]		
	2	木	学部教授会 [3月卒業者の決定]		
	9	木	北大第二次入学試験(後期日程)監督員説明会 15:30~		
	3	金	学科別受入人数発表		
3	6	月	学科分属希望調査票受付(当日のみ)		
J	12	目	北大第二次入学試験(後期日程)【10日(金)試験場設営】		
	14	火	正午 大学院修士(博士前期)課程(3月修了者を除く)成績提出締切		
	15	水	or 16~17日 教務委員会 [学科分属先の決定] → 17:00頃 学科分属先の発表		
	16	木	専攻長・学科長会議 [研究生・聴講生・科目等履修生の選考]		
	16	木	16:00頃研究生・聴講生・科目等履修生入学許可通知		
	23	木	正午 学部専門科目(卒業者を除く)成績入力締切		
	24	金	学位記授与式		
	3	月	大学院理学院入学式		
	4	火	平成18年度第1学期授業開始(大学院・学部専門科目)		
	6	木	新入生オリエンテーション及び理学部ガイダンス		
	7	金	北海道大学入学式		
4	7	金	博士学位申請締切(4月付託)		
	11	火	全学教育科目第1学期授業開始		
	13	木	理学院代議員会		
	19	水	履修届受付(~20日)		
	20	木	全学教育科目追加認定試験成績締切		